

キャンパスから

小樽商大
松家仁教授

を発表する場にもなっています。教員と間違えているのだと思いますが、若い学生とすれ違う時にあいさつしてくれるのがうれしいですね」

「夜間主コースに所属する学生は少ないので少人数で受講できますし、先生の一方的な講義のみならず、グループワークやプレゼン形式の授業が多い点が異なります」

「卒業後の就職を考える必要も、4年で卒業する理由も、成績にこだわる理由もないのだから、生涯教育として長く学生生活を楽しみたいと思っています。卒業までの小さな目標は、大学までの急な坂道、地獄坂を毎日歩いて通学すること。雨の日はつらいですが」

小樽商大の夜間主コースには社会人入試枠があり、時々年配の方が入学しています。私のゼミに所属している60代の男性(3年生)に話を聞きました。

「入学の動機は、
「いくつになっても意欲を持つことが大事。学ぶ意欲を実践するために入学しました」

「実際に通ってみた感想は。
「とっつきにくいイメージのある大学の先生とも話ができますし、自分の意見

年重ねても社会と接点



夜も多くの学生が学ぶ小樽商大

「読者には同世代の方も多くいます。社会人入学をお勧めしますか。」

「年を重ねても社会と接点を持ち続け、自分の存在を感じる事ができるという点で、社会人入学は魅力的な選択肢だと思います」

◇ 同世代のみならずはこのインタビューを読んだどのような感想を持ちましたか。もう一度学生になるということを検討してみたいかがでしょうか。